

人間と自然の関係

I・S

今まで調べてきたこと

私は裏磐梯に行って見たかったものは水芭蕉だったけれど、季節は9月。もうこの時期にはないということを知りショックを受けましたが、今まで調べてきた人間と自然の関係について興味を持ったので実際にどのような植物がどんなところで生活に役立っているのかを見てみたいと思いました。

私が調べた人間と自然の深い関係とは原料や材料、鑑賞することで心を豊かにしてくれることなどに用いられているということです。どのような使い道かというと、葉や茎や根は野菜として、実は果実として、さらに加工をすればパスタやうどんになるのです。また健康のためには薬になります。ガーデニング・いけばな・押し花で利用され私たちの心を豊かにしてくれています。なにより植物は酸素をつくりだして私たちの環境をつくってくれています。調べれば調べるほど植物の大切さについて学んでいきました。だから、1日目のコースは「人と自然のかかわり」というテーマなので実際にどのような植物が人間の生活に役立っているのかについて見てみたいと思いました。

2日目は、「高山植物を調べよう」というテーマなので今まで調べてきた植物以外の植物をたくさん見つけられればいいと思います。

1日目 湖畔の森自然散策路

ネイチャーガイドの先生は横田清美先生でした。優しくとてもわかりやすく、わたしが一番すごいなと思ったのは私では絶対見つけられないような、小さい自然も先生は見つけていたということです。このコースでは実際に植物がどんなところで活躍しているのかを見ることができました。このコースの中で1番びっくりしたことは、ナメクジがキノコを食べるということです。その名前は[ヤマナメクジ]です。このナメクジは食料となっているようで、しかも今まで見たことのないような巨大ナメクジでした。実際にナメクジがキノコを食べているのがこの写真です。



生活に役立っている植物を実際に見ました。[ツククサ]という植物はぬりえなどの色を塗るのに使えると先生が教えてくれました。実際にぬりえを使ってツククサの花びらをこすりつけて色を塗るところを見せてくれました。ツククサの花びらの色は青紫っぽい色できれいでした。もう1つはマツヤニです。松のヤニは野球とかで使うろうじんになったりするそうです。改めて植物って自分たちの生活の小さい所で活躍していることを感じましただからもっともっと大切にしないといけないと思いました。

またコースの中ではキノコをよく見かけました。色々な種類のキノコを見かけ私は、どのキノコに毒があるのかが気になりました。先生が教えてくれたのは、キノコの裏を見れば毒があるのかが見分けられるということを教えてくれました。キノコの裏がふかふかしていてスポンジのようになっているのは毒のないキノコだとわかるそうです。

このコースでは今まで自分が知らなかったことや改めて植物・自然を大切にしていかななくてはいけないなと思いました。



2日目 浄土平・鎌沼コース

ネイチャーガイドの先生は二階堂先生でした。このコースのテーマは高山植物を調べようということで、今まで色々な植物を調べてきたのでこのコースで自分がまだ知らない植物を見つけたいと思い選びました。

まず初めにシラタマの木という植物を見つけました。この実は白くてまるく潰してみるとシップの匂いがしました。おもしろい植物だと思いました。また、ナナカマドという植物は見かけは普通ですが名前の由来がおもしろく、昔、七日間かまどの中に入れて炭にするということがあり、ナナカマドとなったそうです。名前の由来でもおもしろい植物を見つけられました。

人間が植物を大切にしていない

このコースではどんな植物が生活に役立っているのかではなく、人間がいかに植物を大切にしていないかがわかりました。それは、もともとは植物が生えていたのに植物の上で、遊んだり、歩いたり、ねっころがったりしたため、一部の植物がダメになってしまったということです。強く踏んだりすると植物はダメージを受けます。すると植物は死んでしまうのです。そしてもう一度生えるためには、30年近くかかるのです。人間がとったちょっとした行動で植物はものすごいダメージを受けることを学びました。こういうことにな

ってしまう原因の1つとして考えたのは、植物が生活に役立っていることを知らないんだと思います。私も自然学習で調べなければ知らなかったと思います。植物が生活に役立っていること、そして私たちが生きていく環境を作ってくれていることを知ったならば植物に対してそんな行動はしないのではないかと思います。

また、植物も生き物のように生きているという自覚も足りないのかなと思いました。人間だって踏まれれば痛いのがから植物だってダメージを受けるのは同じです。実際に人間のせいでダメージを受けた植物を見て、植物に対する感謝などが不足しているなと思いました。

自然体験学習を終えて

今までのゼミ学習や自然観察コースを歩いて、私が最も心に残ったことは「人間と植物の関係」です。ゼミ学習では、初めて植物というものが生活に役立ってくれていて、私達の環境を作ってくれている大切なものだということを学びました。1日のコースではどんな植物がどんなところで役立っているのかについて学ぶことができ、見ることもできたので本当に良かったです。2日目は高山植物以外に、生活に役立っている植物を人間がいかに大切にしていけないかがよくわかりました。平気で植物を傷つけ、それにも気がつかずにいることはいけないと思いました。私はこの現実を知って思うのはできるだけ多くの植物が人間の行動によって無駄にならないでほしいと思います。そして、自分自身も植物を今よりも、もっと大切にしていきたいと思いました。この学んだことはいつまでも忘れないようにしたいと思います。

たくさんの事を学べたのは、先生方や福島の方々のおかげです。福島原発の放射能の風評被害によって苦しんでいる中、私達を歓迎してくれて優しくしてくれました。自然も本当にきれいで良い所だなと思ったし、福島は安全な所だということをできるだけ多くの人に知ってもらいたいです。ウォークラリーの途中で福島の方とお話しました。その人は、「会津良い所だね。」と言っていました。本当にその通りだと思います。ネイチャーガイドの先生方をはじめとする私達に自然体験学習をする機会をあたえてくれた方たちには本当に感謝しています。とても良い経験になりました。